

鷹栖町議会 孔雀草 一般質問 その後を

追跡

Vol. 11

議会報では、定例議会毎に一般質問(平成25年3~12月)の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたのか、質問の一部を追跡しました(平成26年10月現在)。



皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

連絡先 鷹栖町議会事務局

☎ 0166-87-2111 (内線302・303)

✉ gikai@town.takasu.hokkaido.jp

鷹栖町議会

質問
H25.3月
定例会
空き家の有効活用は

「空き家バンク」が施行されてから6年が経過している。定住促進住宅建設補助金が上限で150万円あるので、空き家への移住者奨励金の支給も1つの方法と考えるが。

答弁
町長
実態調査を行い、補助金を
含む運用方法を考える

制度を活用して、2件の登録物件が利用された経過がある。補助金は、定住対策、土地利用対策も含め、平成25年度から積極的に考える。

追跡
今は…
空き家の有効活用を進める

平成26年度より町内の空き家を改修して定住する方に対する補助金制度を儲け、空き家の有効活用と定住促進に向けた取り組みを進めています。

質問
H25.6月
定例会
公営住宅のあり方は

鷹栖町公営住宅管理規則で「町内に住所を有するものまたは本町に勤務場所を有する者」と定められている。「鷹栖に住みたい」と考える方のためこの規則を削除すべきと考えるが。

答弁
町長
今年度中に規則を改定したい

広報による募集後も空き状態が続くようであれば改定の検討をし、今年中に結論を出す。

追跡
今は…
条例改正は行わない

入居申し込みが順調に進んでいるため、条例改正は行わない方向でいます。

質問
H25.12月
定例会
原料トマトの
町外作付と単価アップは

「オオカミの桃」の生産量減少に歯止めをかけるためさまざまな助成事業を実施しているが、町外で原料トマトを生産する考えは。原料トマトの購入価格は生産農家からは早急な単価アップが望まれているが、考えは。

答弁
町長
前向きに検討を進めている

原料トマトの町外栽培や購入単価アップは農業振興公社の取締役会での検討・決定事項になるため、具体的な回答はできないが、前向きに検討を進めている。

追跡
今は…
作付・単価等を見直し、生産量は増加

平成26年度より町外作付を開始し、単価も増額しました。平成26年度の生産量は39万本と、前年より4万本ほど増える見込みです。

質問
H25.3月
定例会
パレットヒルズの
パークゴルフ場継続構想は

当面の間パークゴルフ場を活用しながら、水道や休憩施設を配置するとある。丸山パークゴルフ場との共存をどう考えるか。

答弁
町長
25年度より
3カ年は指定管理者委託で

2つのパークゴルフ場は景観や立地条件など特徴が違うので、連携も検討していく。

追跡
今は…
27年度中に
方向性を明確にする

パークゴルフ場の利用状況や町民の皆さんの意見を参考にしながら継続について検討していきます。

質問
H25.12月
定例会
中山間地域の米作りの展望は

減反政策の廃止をどのようにとらえているか。米の代替作物の導入に目を向ける時期ではないか。

答弁
町長
複合経営や
作付けゾーニングが必要

水稻中心の鷹栖町農業にとって大きな転換期と考える。耕作放棄地を発生させない観点からも大麻に限らず、新規作物の導入の調査・研究をしていく。

追跡
今は…
新規作付支援も継続していく

現在、道北地域産業用大麻連絡会に参加し、調査・研究を続けています。地域農業活性化総合支援事業で、新規作付支援も行っています。